



東アジア木版 文化研究と

デジタル・ヒューマニ
ティーズの可能性

アジア圏文化資源研究開拓
プロジェクト
国際ワークショップ

可能性

予約不要
来聴歓迎

Session 1

立命館大学ARCにおける東アジア文化資源研究とデジタルアーカイブ活動

Session 2

講演

Session 3

東アジア各国における木版文化研究

Session 4: Discussion

質疑応答

研究交流の可能性とその基盤構築について

東アジア木版研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性について

2018. **2.28** 水 10:00-17:30

3. 1 木 10:00-12:00

※両日とも 9:30 開場

立命館大学衣笠キャンパス
アート・リサーチセンター

多目的ルーム

[主催] 立命館大学 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(日本文化資源のグローバルアクション)、立命館大学アート・リサーチセンター アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト

[助成] 一般財団法人 橋本循記念会

アジア圏文化資源研究開拓プロジェクト(日本文化デジタル・ヒューマニティーズ研究拠点)では、立命館大学アート・リサーチセンター(ARC)で培われてきた日本文化デジタルアーカイブの手法や技術を、アジア圏の様々な文化・芸術研究に応用することで、新たな地平を拓くことを目的の1つとしています。

その一環として、今回は「東アジアの木版文化」をテーマとし、日本・中国・韓国・ベトナムから4名の先生方をお招きし、当該プロジェクトメンバーからも研究成果を報告する国際ワークショップを開催することになりました。各国の研究状況についてご報告いただくとともに、各国間でどのような研究交流が可能か、いかにその基盤を構築するか、現在および今後の研究においてデジタル・ヒューマニティーズ手法がどのように作用するかを議論することにより、研究交流のレベルを進展させる機会となればと考えております。みなさまのご参加をお待ち申し上げます。

PROGRAM

※1 は韓国語、※2 は中国語による発表(両日とも、日本語・中国語・韓国語の同時通訳あり)

2018年2月28日(水) 10:00-17:30

10:00-10:05 開会挨拶

10:05-11:05 **Session1**

立命館大学ARCにおける東アジア文化資源研究とデジタルアーカイブ活動

西林孝浩(立命館大学教授)「アジア圏文化資源研究開拓プロジェクトの概要」

金子貴昭(立命館大学准教授)「立命館大学ARCのデジタルアーカイブ活動」

11:05-11:50 **Session2 講演**

永井一彰(奈良大学名誉教授)「板木デジタル化の功罪」

11:50-13:15 昼休憩

13:15-17:30 **Session3**

東アジア各国における木版文化研究

韓禪学(韓国古版画博物館館長、韓国古版画学会会長)※1「東アジア古版画の収集と博物館の設立」

グエン トゥアン クオン(ベトナム社会科学翰林院漢喃研究院院長)※2

「ベトナムにおける仏書の板木—マイナーな資料群の保存提唱」

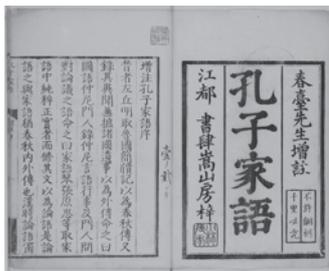
休憩(15分)

金子貴昭(立命館大学准教授)「日本の板木研究の現状とデジタルアーカイブの活用」

李増先(立命館大学専門研究員)「東アジアとヨーロッパをつなぐ和刻本漢籍」

休憩(15分)

翁連溪(故宮博物院研究員)※2「故宮博物院所蔵板木の現状と中国国内現存板木の調査」



2018年3月1日(木) 10:00-12:00

10:00-12:00 **Session4: Discussion**

質疑応答

研究交流の可能性とその基盤構築について

東アジア木版研究におけるデジタル・ヒューマニティーズの可能性について

【表面】全て個人蔵 【裏面】上：立命館大学アート・リサーチセンター所蔵 arcMD01-0657 下：立命館大学アート・リサーチセンター所蔵 sakBK01-0090

立命館大学衣笠キャンパス アート・リサーチセンター

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL: 075-466-3411(9:00~17:30)

<http://www.arc.ritsumei.ac.jp>

【問い合わせ】立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター 立命館大学 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(日本文化資源のグローバルアクション) 事務局/〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1/ TEL: 075-465-8476(9:00~17:30)/e-mail: arc-jimu@arc.ritsumei.ac.jp

